



2018年9月25日

和歌山市
南海電気鉄道株式会社

**和歌山市×南海電鉄 両者で連携協定を締結し、
加太線および和歌山市駅周辺エリアにおける
「リノベーションまちづくり」に取り組みます！**

～2019年度からの加太エリアにおける「リノベーションスクール」開催を目指し、

2018年11月17日(土)に第一弾事業「まちやどシンポジウム」を開催～

和歌山市(市長：尾花正啓)と南海電鉄(社長：遠北光彦)では、このたび「リノベーションまちづくり」に関する連携協定を締結いたしますので、お知らせいたします。

和歌山市は、増え続けている市中心部の遊休不動産を再生・活用して、機能や性能を向上させ、生まれ変わった遊休不動産を核に、まちに雇用と産業を生み出しエリアの魅力を高めることを目的に、公民連携のもと、リノベーションによるまちづくりに取り組み、一定の成果を上げています。

一方、南海電鉄では、和歌山市における取組として、加太観光協会及び磯の浦観光協会と共同で「加太さかな線プロジェクト」を実施し、加太線の観光路線化・加太エリアの交流人口拡大に取り組んでいます。また、ターミナル駅である和歌山市駅においては、和歌山市及び和歌山県と連携して、オフィス棟・ホテル棟・商業棟・公益施設棟などを開発する「和歌山市駅活性化計画」を推進しています。

これらの取組を一層推進すべく、リノベーションまちづくりを通して、観光、産業、地域の振興などの各分野において相互に協力し合い、加太線沿線及び和歌山市駅周辺エリアの魅力創出・発信に積極的に取り組んでいくため、連携協定を締結いたします。

今回の連携協定に基づく具体的取組として、2019年度から、加太エリアの遊休不動産を対象にした「リノベーションスクール」を開催することを目指していきます。

また、2018年11月17日(土)には、第一弾事業として「まちやどシンポジウム」を開催いたします。

詳細は、別紙のとおりです。



加太の街並み

1. 連携協定について

(1) 協定の名称

和歌山市と南海電気鉄道株式会社とのリノベーションまちづくりにおける連携に関する協定

(2) 協定締結日

2018年10月3日（水）

2. 両者連携による具体的取組(リノベーションスクールの開催)

(1) リノベーションスクールとは

リノベーションスクールとは、リノベーションを通じた都市再生手法について、実践を通じて学ぶ短期集中合宿型のイベントです。参加者は、実案件を対象に「ユニット」と呼ばれるチームを組み、リノベーション先駆者のレクチャーやアドバイスを受けながら、実務レベルのリノベーション事業計画を作成し、不動産オーナーへ提案します。

なお、和歌山市では、市中心部の物件を対象にした同スクールを、2013年度から6回開催しています。その実績として、飲食店やゲストハウスなど、スクール実施時の提案の事業化が7件、そのほかの物件でスクール受講生が携わり事業化されたものも10件あります。和歌山市はリノベーションまちづくりの先進的地域であり、事業化率も全国トップクラスを誇っています。



「第6回リノベーションスクール
@和歌山」の様子



事業化事例

第1回リノベーションスクール対象物件
「農園レストラン 石窯ポポロ」

(2) 和歌山市と南海電鉄の役割

和歌山市と南海電鉄がリノベーションスクールを共同で開催し、開催に伴う業務(同スクール及びイベントのPR、運営など)を行います。

(3) 第一弾事業となる「まちやどシンポジウム—地域や集落の魅力を引き出す「まちやど」の可能性—」について

ア、開催日時：2018年11月17日(土) 16時00分～18時00分(予定)

イ、開催場所：加太おさかな創庫(所在地：和歌山市加太港内)

ウ、出席者：宮崎 晃吉(日本まちやど協会代表理事、hanare)

おおしま よしひこ
大島 芳彦(日本まちやど協会理事、シーナと一平)

がもう ひろゆき
蒲生 寛之(日本まちやど協会会員、SMALL TOWN HOSTEL Hakodate)

やまかわ ともつぐ
山川 智嗣(日本まちやど協会会員、BED AND CRAFT)

やました けんた
山下 賢太(日本まちやど協会会員、FUJIYA HOSTEL)

エ、内容：まちやどについての概要説明、クロスディスカッションなど

「加太さかな線プロジェクト」について

南海電鉄が加太エリアの交流人口拡大に向けた加太線の観光路線化を目指し、2014年度から加太観光協会及び磯の浦観光協会と共同で推進してきた加太エリアの魅力発信プロジェクトです。

2016年4月には観光列車「めでたいでんしゃ さち」の運行を、2017年10月には2編成目となる「めでたいでんしゃ かい」の運行を開始しました。そのほか、加太線各駅(東松江駅～加太駅)への観光駅名看板の設置、加太駅係員のオリジナル前掛け着用でのお出迎えなどを実施してきました。

その効果として、加太駅の1日あたり平均定期外乗降人員は、プロジェクトを開始した2014年度の384人に比べ、2017年度は505人と31.5%増加しました。



めでたいでんしゃ さち



めでたいでんしゃ かい

以上